

オプトエスピー様、ISO27017 認証取得

弊社でISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)を認証取得されている株式会社オプトエスピー様(東京都新宿区)が、本年1月にISO27017認証を取得されました。インターテック国内初のISO27017認証になります。

ISO27017は、ISMSクラウドセキュリティに関する国際規格で、クラウドサービスの提供及び利用に関する情報セキュリティ管理策のためのガイドラインです。ISO27001認証を前提としたアドオン認証となっているため、ISO27001の認証取得が必須となります。

オプトエスピー様は、コールセンター向けの音声系システムの開発・提供をされており、700社以上の導入実績があります。同社では、様々なクラウドベースのサービスを提供されていることから、ユーザーにより安心してご利用いただくための判断指標として、2014年に導入したISO27001に続き、今回ISO27017を認証取得されました。この取得を機にオプトエスピー様のさらなる発展が期待されます。(https://www.optsp.co.jp/)

シンハー・パークチェンライ様 ASIAGAP/JGAP認証取得

タイの代表的なビールメーカー、シンハービールが運営するシンハー・パークチェンライ株式会社が2020年1月、インターテックでのASIAGAP/JGAP認証、タイのお客様では第1号として認証取得されました。

シンハーパークは、約12.8km²(東京ドーム約270個分)の広々とした敷地内で年間を通してお花や果物などを楽しむことができ、動物園やサイクリング、農業体験など様々なアクティビティも体験できる人気の観光スポットです。

今回認証を取得した農場は、その敷地内の約1.4ヘクタールで野菜や果樹類、お茶を栽培されており、園内レストランで



認証書授与式にて(弊社東京事務所にて)

の提供やお土産品としてジャムやお茶も作っています。同社は、農業プロジェクトにおける作物の栽培だけでなく、観光事業や、社会・コミュニティ支援事業を通し、地元への社会貢献にも取り組まれています。(https://www.singhapark.com/)

ISO45001移行審査対応状況

2018年にISO45001:2018が発行され、OHSAS18001はISO45001へ切り替わるため、移行期限(発行後3年以内)までに、ISO45001への認証移行が必要となります。

移行期限が残り1年と迫り、弊社では毎月移行審査の申請状況をエリアごとに確認し、お客様の移行推進に繋げています。2月初め

時点で、早いエリアではすでに9割以上、全体では7割以上が申請済みの状況となっています。移行期限を過ぎるとOHSAS18001は失効するため、弊社では余裕をもって本年9月頃までの移行審査を推奨しています。受審時期のご相談も含め、ご不明な点等ございましたら、弊社各営業担当までお気軽にお問い合わせください。

Q&A

お客様からいただきましたご質問についてご紹介いたします。

Question

先日、「今度の審査に、追加で審査員を1名、教育目的で参加させてもらってもいいですか?」との連絡がありましたが、当社は小規模な会社で、事務所が狭くスペースに余裕がありませんので、できれば審査員は増やしてほしくないというのが正直な気持ちで、実際、審査員が増えても、審査の対応者を用意するのは難しいと思います。また、いつもアットホームな雰囲気です。審査をさせていただいていますが、審査員さんが増えることで、堅苦しい感じにならないのか心配です。できれば、断りたいのですが、問題ないでしょうか?

Answer

予定されている審査に、審査員があとで追加されるケースとして、主に以下の3つがあります。

①訓練生の参加

審査経験の浅い審査員への教育訓練の一環として、審査の進め方などを実地で学ぶ目的で実際の審査に参加させていただくもので、訓練生はリーダー審査員について審査を実施する形になります。

②立ち合い審査員の参加

審査の質を向上し、お客様にご満足いただける審査を提供するために、審査現場における審査員の力量監視・評価を定期的に行っています。この監視・評価システムは、認定機関からの要求事項と位置づけられ、私ども審査機関の必須実施事項となっております。

③UKAS認定審査員の参加

弊社が認定を受けている英国の認定機関、UKAS(英国認証機関認定審議会)より、審査の適合性を審査する目的で、UKAS認定審査員が立会審査員として参加するものです。

特に上記③については、認定機関からの指定による審査になるため、認定を受けている弊社では断ることはできないものになります。これはJAB(公益財団法人日本適合性認定協会)を含め、他の認定機関から認定を受けている審査機関でも同様に実施されているものです。また、①、②につきましても、適正な審査サービスを提供するための不可欠な活動です。お客様にはお手数をおかけすることとなりますが、何卒、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いたします。